

ほどがや便り

39. 5号
(増刊号)



年賀のご挨拶



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はリオオリンピック・パラリンピックで日本人の活躍に大いに盛り上がりましたが、一方で熊本地震に始まり、各地で台風や地震などの自然災害があり、特に岩手県の高齢者グループホームが台風による浸水で9名の入居者が亡くなった事故では、施設管理者としてどう判断すべきであったのか考える機会となりました。起きてはほしくない大規模災害であります。備えることと覚悟が必要であると改めて感じているところです。

さて福祉業界においては、H29年4月から社会福祉法人制度改革が施行されます。これは公益性・非営利性を確保する観点から昭和26年に制定された制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する社会福祉法人の在り方を徹底するという目的で施行されるもので、開かれた法人として地域における公益的な取り組みを実施するよう義務付けられます。当然本業である特別養護老人ホームと短期入所生活介護の事業の継続はもちろんのこと、そのうえでさらなる役割を担うよう期待されているということになります。

当法人も社会福祉法人の位置付けにあり、ほどがやとしてもその役割を担うべく、H28年度より地域と連携強化に向け、施設がある岩井原地区の担当の岩崎地域ケアプラザと連携を取り歩み始めたところです。岩井原地区の高齢化率は保土ヶ谷区平均より高く、認知症により見守りが必要でSOSネットワークに登録されているかたが保土ヶ谷区の中で約半数を占めているとの情報もあります。厚労省が勧める地域包括ケアシステム構築のためには、地域の方が認知症を正しく理解して、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりが必要不可欠であり、そのために施設として何をしなくてはならないのかを問い続け、できることから始めてみようと思っています。

本年も相変わらずご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事新しい年を迎える事ができました。今年のお正月は天候にも恵まれ、また入居者様も大きく体調を崩される方も無く良いスタートがきれたのではないかと思います。昨年は当施設として初めて「かながわ福祉大会」に参加し、日頃の取り組みを発表しました。発表そのものが目的ではなく、こうした新しいチャレンジによって普段の皆様提供する介護品質の向上につながっていく事が大切なことだと考えています。



広報季刊誌
企画・発行



Paese del Sole

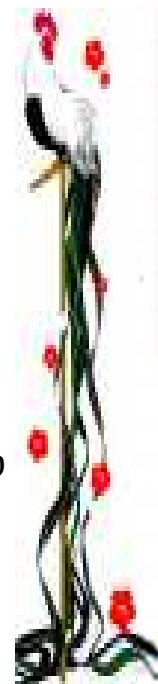
平成29年1月10日発行
社会福祉法人 朋光会
特別養護老人ホーム
太陽の国ほどがや

<http://www.apollon.or.jp/hodogaya/>

電話:045-730-1165(代)

F A X:045-730-1152

横浜市保土ヶ谷区岩井町238-1



施設長 野村美紀



介護主任 上里 秀

12月26日(月)当施設中庭で「餅つき」を行いました。皆さま、力強く杵を突れました。後は、きなこ・あんこ・大根おろしを漬けていただきました。



ショート・ステイ
皆様の手作り
作品です。



サンタ・トナカイと
一緒に



クリスマス会

今年の、クリスマス会は、各階ごとに分かれ開催いたしました。ケーキを食べたり、ゲームを楽しんだり、又プレゼントに声を上げられる方もおいででした。



早くクリスマスツリーを
完成させましょう。



ご家族様も来設され
楽しいひと時を
過ごされました。

